

施策項目4

新しい時代に必要となる資質・能力の育成（高校）

施策の方向性 ～10年後を見据えて～

- 生徒が自ら解決すべき課題を見だし、主体的に考え、多様な立場の者と協働的に議論し、納得解を生み出すことなど、新学習指導要領が目指す資質・能力を確実に育成するため、教科等横断的な教育を実践します。
- 生徒一人一人に応じて、学習指導を行う「指導の個別化」及び学習活動や学習課題に取り組む機会を提供する「学習の個性化」を通じて、生徒が「個別最適な学び*」を進めることができるようにするとともに、探究的な学習活動や体験活動などを通じて「協働的な学び*」を充実させる教育を実践します。
- 生徒がICTや学校図書館を日常的に活用することにより自ら見通しを立てたり、学習の状況を把握して、新たな学習方法を見いだしたりするなどして、自ら学び直しや発展的な学習を行うことができるよう、成果の共有や学校司書の配置を進め、ICTや学校図書館を効果的に活用する教育を実践します。
- 中学校教育までの学習の成果や高校段階における学力の状況を踏まえ、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を活かし社会の一員として多様な人々との協働を促す教育を実践します。

主な取組

- **教科等横断的に資質・能力を育成する校内体制の構築**
 - ・ 小学校から高校までの12年間を見通し、義務教育段階の学びを踏まえた高校段階での継続的な検証改善サイクルの確立を推進
 - ・ 学校教育指導での協議、指導・助言を通じて、スクール・ミッション*に基づいて各学校が策定するスクール・ポリシー*に示された育成を目指す資質・能力を教科等横断的に育成する取組の推進
 - ・ 北海道高等学校教育課程研究協議会*等における先進的な取組や好事例の普及・啓発
- **主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善**
 - ・ 生徒の可能性を引き出すために、ICTの活用や単元の指導計画の作成・充実を通して、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を推進
 - ・ 大学、民間企業等と連携し、専門的な見地からの助言を踏まえた学習活動の充実と授業改善の推進、成果の普及・啓発
- **ICT環境を適切に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実**
 - ・ ICT機器を活用して情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う等、生徒一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供するなど、個に応じたきめ細かな学習指導の充実
 - ・ ICT機器を活用して探究活動の取組の成果を共有するなど、遠隔地の専門家や他の学校・地域や海外との交流などの促進

関連する主な SDGs の目標



○ 読書活動の充実

- ・ 図書委員会を中心とした読書推進活動など、読書習慣の確立に向けた生徒の主体的な取組や好事例の普及・啓発
- ・ 道立及び市町村立図書館との連携による読書環境の整備や、資料・情報サービスの提供による学習活動の充実



- ・ GIS*や様々なデータを活用して教科等横断的に資質・能力を育成
- ・ 遠隔地の専門家や他の学校・地域や海外との交流などを促進
- ・ 様々なソフトやアプリを活用した個に応じたきめ細かな学習指導の充実

【推進指標】

指 標	現状値	目標値(R9)
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善により指導と評価の一体化が図られている学校の割合	66.5% (R4)	100%
総合的な探究の時間において、対外的な成果発表の機会を設定している学校の割合	56.9% (R4)	100%
ICTを活用して自分に合った学習ができる高校1年生の割合	75.9% (R4)	100%
一斉読書や書評合戦（ビブリオバトル）等の読書推進活動に取り組む学校の割合	調整中	調整中
学校司書を配置していると回答した学校の割合	調整中	50.0%

高校教育課



社会教育課



学力向上推進課



ICT教育推進課



担当課 HP

●個別最適な学び

生徒自ら学習を調整しながら粘り強く取り組む態度を育むため、自らの特性や学習進度、学習到達度等に応じて教材や学習時間等を柔軟に設定して行う学びや、生徒の幼児期からの体験活動から得た自らの興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、探究において課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行うなど、生徒自らの学習が最適となるように調整した学び。

●協働的な学び

生徒同士や地域の方々など、多様な他者を価値のある存在として尊重し、探究的な学習や体験活動などを通じて行われる学び。

●スクール・ミッション

各高校に期待される社会的役割。当該高校の役割や教育理念を、学校設置者が学校内外の関係者に対して分かりやすく示したものの。

●スクール・ポリシー

高校の入学選抜時から卒業時までの教育活動を一貫した体系的なものにするために作成する3つの方針。卒業後を見据え、生徒に身に付けさせる資質・能力を示した「高等学校学習指導要領に定めるところにより育成を目指す資質・能力に関する方針」（グラデュエーション・ポリシー）、グラデュエーション・ポリシーを達成するための教育課程の編成・実施や学習評価を定める「教育課程の編成及び実施に関する方針」（カリキュラム・ポリシー）、スクール・ミッションや他のポリシーを踏まえ、入学時に期待される生徒像を示した「入学者の受入れに関する方針」（アドミッション・ポリシー）を指す。

●北海道高等学校教育課程研究協議会

各学校における教育課程の編成に伴う諸課題について研究協議を行い、高等学校教育の改善・充実を図ることを目的に、北海道教育委員会が毎年、公立高等学校の教務主任等を対象に開催している研究協議会。

●GIS

地理情報システム（GIS：Geographic Information System）のこと。地理情報システムとは、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータを総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術。